

# 基督教学研究

第 22 号

論 文

人間の内の恒久なるもの

— アウグスティヌスの「神の似像」理解 —

片柳 榮 一 …… 一

キリスト教における性の問題 ……

笠井 惠 二 …… 三

内村鑑三における「神・人・自然」 ……

原 島 正 …… 五

宗教的複数主義とパトナムのプラグマティックな実在論

小 倉 和 一 …… 七

研 究

神名再考

— 出エジプト記三章一四節の統語論的考察 —

大 石 祐 一 …… 九

聖書、解釈、自己、行為

— リタールの聖書言語論の社会思想的射程 —

佐 藤 啓 介 …… 一七

初期テイリツヒの思惟構造

— へ一元論—二元論—モデル —

近 藤 剛 …… 二〇

テイリツヒにおける宗教社会主義の神学的意義

— テイリツヒ・ヒルシュ論争をめぐって —

岩 城 聡 …… 二五

マルキオンにおける創造と悪

— テルトウリアヌス—マルキオン反駁—をテキストとして —

津 田 謙 治 …… 二七

彙 報

彙報

1830/31]

二〇〇二年度基督教教学専修講義題目

片柳榮一 教授 講義 「キリスト教学概論」

特殊講義 「時間論の宗教哲学的課題」

演習 「Augustinus: De trinitate」

講読 「ルカ福音書講読」

芦名定道 助教授 特殊講義 「キリスト教思想における自

然の諸問題」

演習 「日本・アジアのキリスト教

(因社第III)」

演習(学部) 「Ingolf U. Dalferth: The-

ology and Philosophy」

演習(大学院) 「F. Schleiermacher:

Der christliche Glaube,

片柳榮一教授・芦名定道助教授

演習 「キリスト教学の諸問題」

勝村弘也 講師 特殊講義 「預言と知恵」

語学 「ヘブライ語文法と講読」

今井尚生 講師 特殊講義 「歴史と真理—相對主義の克

服を指摘して」

Martin Repp 講師 演習 「C. H. Ratschow: Von den

Wandlungen Gottes」

二〇〇一年度論文題目

修士論文

岩城 聡 「パウル・ティリッヒの社会思想の一断面—

宗教社会主義論の展開と課題」

津田謙治 「テルトゥリアヌス『マルキオン反駁』におけ

る創造の問題」

## 京都大学基督教学会規約

一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。

二、本会は基督教学研究の進展を目的とする。

三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。

(一) 研究発表会、講演会などの開催

(二) 学会誌『基督教学研究』の発行

(三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流

(四) その他の必要な事業

四、本会は基督教学研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって会員とする。入会は委員会の承認による。

五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

会員は年会費五千元を納めるものとする。会員のうち年額一口五千元を二口以上納めるものを維持会員とする。

六、本会の運営のために次の委員を置く。

(一) 代表者 (一名)

(二) 委員 (若干名)

(三) 監事 (一名)

代表者、委員、監事は会員の間から選出し、任期を二年とし、再選を妨げない。

七、本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。

八、本規約は委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。

(本規約は一九九八年二月から施行する。)

代表者…小池三郎

委員…高野晃兆、林 忠良、片柳榮一、宮庄哲夫、

勝村弘也、芦名定道、武藤慎一

監事…水垣 渉

## 執筆者

|      |                      |
|------|----------------------|
| 片柳榮一 | 京都大学大学院文学研究科教授       |
| 笠井惠二 | 京都産業大学教授             |
| 原島正  | 東洋英和女学院大学教授          |
| 小倉和一 | 京都大学大学院文学研究科後期課程学修退学 |
| 大石祐一 | 京都大学大学院文学研究科後期課程学修退学 |
| 佐藤啓介 | 京都大学大学院文学研究科後期課程     |
| 近藤剛  | 京都大学大学院文学研究科後期課程     |
| 岩城聡  | 京都大学大学院文学研究科後期課程     |
| 津田謙治 | 京都大学大学院文学研究科後期課程     |

## 『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。（本規定は二〇〇〇年二月一六日から施行する）

第二十二号編集実務委員会

小池三郎  
高野晃兆  
林忠良  
片柳榮一  
宮庄哲夫  
勝村弘也  
芦名定道  
武藤慎一

二〇〇二年十二月二十日印刷  
二〇〇二年十二月三十日発行

定価一五〇〇円(十税)

発行者

京都大学基督教学会  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科  
キリスト教学研究室内

発行人

小池三郎

発売元

(株)一麦出版社  
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

(株)アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、もしくは、右記、京都大学基督教学会(振替〇一〇三〇一五七七二〇七)へ、送料とも一七一〇円(本体価格一五〇〇円、送料二一〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL  
OF  
CHRISTIAN STUDIES  
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

---

---

Vol.22

December, 2002

---

---

Contents

- Das immer Seiende im Menschen—Augustins  
Auffassung von imago Dei* .....Eiichi Katayanagi
- The Issue on Sexuality in Christianity* .....Keiji Kasai
- Study on K. Uchimura's Religious Thought—Relations  
between God, Man and Nature* .....Tadashi Harashima
- Religious Pluralism and Putnam's Pragmatism*  
.....Waichi Ogura
- Reconsideration on the Syntax of the Name of God  
in Exodus 3:14* .....Yuichi Oishi
- Bible, interprétation, soi, action: Les portées socio-politiques  
de d'herméneutique biblique chez Ricœur* .....Keisuke Sato
- Monismus und Dualismus bei Paul Tillich* .....Go Kondo
- Theological Significance of Religious Socialism for Paul Tillich  
—Surrounding Tillich-Hirsch Debate* .....Satoshi Iwaki
- Die Schöpfung und das Böse bei Marcion in Tertullians  
„Adversus Marcionem“* .....Kenji Tsuda

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES  
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan